

公益充実資金等一覧

特定費用準備資金の名称 (貸借対照表科目名)	将来の特定の 活動の名称	当該活動の内容	実施事業年度 (計画期間)	金額	積立限度額の算定方法
ボランティア事業 積立資産	ボランティア 事業費 (公1)	障害者の介助意志を有する旨を対外的に明示したボランティアの組織化、並びに障害者福祉活動の啓発・普及のための広報活動を継続的にを行います。	令和6年度～ 令和15年度 (10年間)	20,000,000	地域毎のイベントとして「車いす街歩き&バリアフリーマップづくり」「手話を使用したふれあいコンサート」などを広く一般の方々へ啓発活動を積極的に推進します。 2,000,000円/年、500,000円×4回
派遣事業積立資産	派遣事業費 (公2)	日本の障害者リーダーとなる人材を養成するための国際研修派遣事業	令和6年度～ 令和15年度 (10年間)	78,000,000	個人研修 US\$2,000×12か月＝US\$24,000 生活費3,480,000円 (1US\$=145円)＋研修費＝2,500,000円 合計5,980,000円/人(6,000,000円/人で計上) グループ研修4,500,000円/G ※6,000,000×10年＝60,000,000 4,500,000×4年＝18,000,000(グループ研修は隔年での積み立てを想定) 収入が減少したとしても安定的に現在と同程度の出発を担保するために最低限の積み立てをします。 加えて、重度障害者への対応にも充当させていただく場合も想定しています。
招聘事業積立資産	招聘事業 (公3)	アジア太平洋地域の障害者リーダーとなる人材を養成するための障害者の国際研修事業	令和6年度～ 令和15年度 (10年間)	72,512,024	招聘事業50,000,000円 5,000,000円/年 年間委託費合計の10%を積み立てる。 近年、アジア太平洋地域から介助者を必要とする研修希望が高まってきている。毎年招聘することは難しいが、それに備える費用とします。 外国人ろう者PJ25,000,000円 5,000,000円/年 (参考値)2023年度5,580,000円/年 誰一人取り残さない社会の実現のため、社会からの要請に応え、本PJを軌道にのせるための費用とします。
50周年記念事業 準備資金	50周年記念事業 (共通)	令和13年度に使用する50周年記念事業を実施するための公益目的事業費用と法人管理費を積み立てます。	令和6年度～ 令和13年度 (8年間)	20,000,000	当財団の公益目的事業費用と法人管理費用との割合で按分する。 2,500,000円/年 公益目的事業費13,000,000円 法人管理費用7,000,000円
システム改修費用積立資産 (特定資産取得・改良資金)	システム改修更新 に伴う費用 (共通)	7年間でシステム維持、セキュリティ対策を継続的に実施し、機能向上を目指すための支出とします。	令和6年度～ 令和12年度 (7年間)	28,000,000	使用実態にあわせ、公益目的事業費用と法人管理費用とに按分する。 4,000,000円/年 ※業者見積りの半額で積立

周年事業積立資産	周年記念事業 （共通）	障害者リーダー育成事業の周年記念事業を実施 するための公益目的事業費用を積み立てます。	平成30年度～ 令和9年度 （10年間）	20,000,000	グループ研修（研修生8名程度） 想定／1期あたり：7,000,000円 研修費3,450,000円、旅費交通費2,700,000円、日当350,000円、広報費・そ 他経費500,000円
			合計	238,512,024円	